

して大根畠に致着すると、谷間には残雪がありその近くには、ニリンソウが咲き早春の感じがよく出ていて気持がよかつた。ここで風食を取り、護摩堂峠へと再び進んだ。

大根畠から護摩堂峠間では

ミヤマカラハシノキ(オバルハシノキ)、ツノハシバミ、キンキマメザクラ……満開、トウグミ、マルバマンサク、(花あり)、オオパクロモジ、サンカヨウ(満開)を採集しながら、谷に出て、雪の上を進み護摩堂峠にさしかかると、ムラサキヤシホが咲きほこつてあり、しばしその美しさに見とれた、すぐ10本ほど採集した。

峠の上にて取立山の頂上に向つて前進すると、イワウチワ、タムシバの花は今を盛りと咲きみだれ、その集団美を鑑賞しながら進むと、次に、ヒロハツリバナ、ウラジロヨウラク、ミツバオウレン、マンネンスギ、ヒカゲノカズラ、アスピカズラ、シノブカグマ、ナナカマド、マイズルソウ等があつた。

待望の石川県側のミズバショウが自生している池に1時半頃致着した。池の面を見ると、雪が4分の1位残つており、ミズバショウの花が水の上に七分咲ぐらいで顔を出して我々を迎えてくれたが、山岳会の人達と工場の一団が60~70人きていて、ミズバショウの上を平気で歩いているのにはまつたくあきれてしまつた。

ここで20分程休み、谷峠を通り、五所ヶ原でバスに乗り、北谷でどうらんを一ぱいにして待つていた中学生を乗せ一路勝山へと走つた。なお、ミズバショウは福井県側にも50株ほど自生していることを確認した。

1 *Lysichiton camtschatcense* SCHOTT. ミズバショウ

福井県側が南限である。

2 *Lycepodium complanatum* LINN. アスピカズラ

現在の福井県では唯一の産地である。

(岐阜県石徹石村 上在所、和田山)

3 *Rhododendron Albrechtii* MAXIM. ムラサキヤシホ

越前以東の本州、北海道に自生するもので、本県では、三の峯、その他の県境山脈

## 渡辺定路記

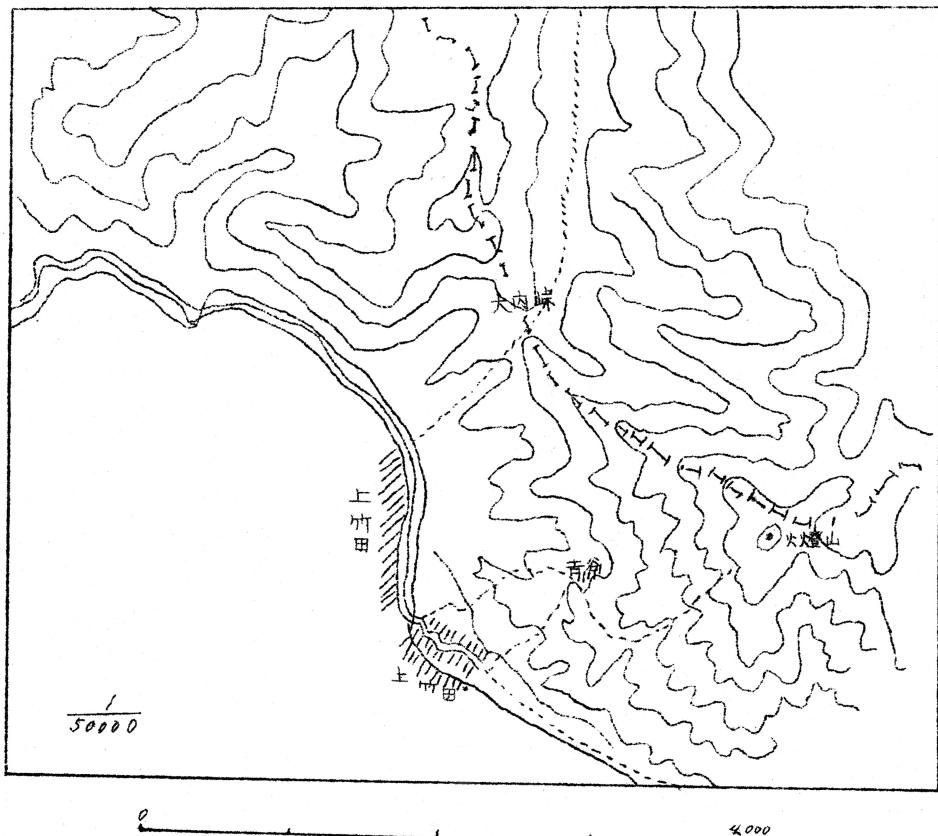
### 竹田吉谷採集記

昭和36年7月9日 坂井郡竹田村、吉谷村近で採集会を行なつた。始めは、火燈山の方へと思つたが吉谷までに時間を過しすぎたので、吉谷付近で採集せざるを得なかつたのである。

参加者は、堀館長、寒蝉、八田、三田村、林、坂井郡理科研究会の人達を含めて25名であつた。

(採)

山口部落の神社の所から採集を始めた。主な採集品は次ぎのようである。



神社付近では、シンミズヒキ、ヤマイヌワラビ、カラクサイヌワラビ、ヒロハイヌワラビ、シケンダ、ミヅシダ、イワガネゼンマイ、サトメシダ、トガリバメンシダ、フモトシダ、キジノオシダ、ホソバイヌワラビ、イノデ、サイゴクイノデ、ウリノキ、ヤマイヌワラビ、クジヤクシダ、イワガネソウ、ベニシダ、トウゴクシダ、ナツノハナワラビ

吉谷部落までは平坦な山道で、その横には、コナラ、クヌギ、ツクバネウツギ、タニウツギ、ホナガクマヤナギ、イヌシダ、イヌワラビ、ヤワラシダ、ハリガネワラビ、ヤマイヌワラビ、ノギラン、ショウジョウバカマ、トリアシショウマ、オオバノトンボソウ、シライトソウ、トチバニンジン、ガマズミ、ムラサキマユミ、ヒヨドリバナ、ヨツバヒヨドリ、ニガクサ、ダイコンソウ、ムラサキニガナ、オオミズナラ、ミヤマガマズミ、コバノガマズミ、ムラサキシキブ、ネジキ、ナツハゼ、ソヨゴ、スノキ、アクシバ、クリ、アマチャズル、ヤマアイ、コクサギ、ヤブタバコ、ミツバウツギ、キツネガヤ、チゴザサ、カニクサ、サワオトギリ、オトギリ、ツリガネニンジン、スマトラノオ、オカトラノオ、ミヤマアブラススキ、ヘクソカズラ、ミソハギ、メドハギ、コマツナギ、オトコヨモギ、ツルアリドウシ、ヤマジノホトトギス、ツノハシバミ、キンキ

(採)

マメザクラ、イソノキ、ケンボナシ、コウガイゼキショウ、ナツトウダイ、コシアブラ、ミズタビラコ、ヌスピトハギ、ショウジョウバカマ、サジガンクビソウ、オニドコロ、ナガバモミジイチゴ、

吉谷部落で小休止を取り、不動さんの所に行く、ここでは、ツメレンゲ、イワデンダ、コオニユリ、ススキ、マルバマシネングサ、ミヤマウズラ、ヒメウツギ、バイカウツギ、カンアオイの類、サイゴクベニシダ、ヤマイタチシダ、

部落から火燈山の途中までには

ヤマトアオダモ、ウラゲエンコウカエデ、ナツノハナワラビ、アイアスカイノデ、タカオイノデサカゲイノデ、クマワラビ、カラクサイヌワラビ、シエロソウ、エゴノキ、ウリハダカエデ、サワフタギ、サワフタギ、ウリカエデ、ヤマモミジ、コハウチワカエデ、ツクバネ、ザイフリボク、アオハダ、ミヤマガマズミ、コバノガマズミ、トグシバ、ヒメアオキ、チヤボガヤ

本日の収穫は

1 *Polystichum pseudo-makinoi* TAGAWA サイゴクイノデ

現在のところ、このあたりが北限と見なされる。

2 *Dryopteris championi* C.CHR. サイゴクベニシダ

裏日本では越前以西であるから、北限と見なされる。

3 *Orostachys erubescens* OHWI ツメレンゲ

県下の産地火燈山、今立郡松岳

4 *Fraxinus longicuspis* SIEB. et ZUCC. ヤマトアオダモ、

渡辺定路記

## 淨法寺採集記

昭和36年8月10日 丸岡行のバスに堀館長以下小中高生を含めて約30名乗り、丸岡で丸岡高生物クラブ員も合流して、上淨法寺で下車し、ただちに採集にとりかかる。

ここでの主な採集品には次のようなものがある。

アオイスミレ、イヌタデ、イヌゴマ、エビヅル、ノブドウ、キクバエビヅル、ヒナガヤツリ、ヤブソテツ、カニクサ、ヤブソテツ、ヤマヤブソテツ、シケシダ、ヒメワラビ、カラムシ、ボタンヅル、オヒシバ、メヒシバ、ヌスピトハギ、ヒメミカンソウ、ミゾソバ、クルマバナ、カナムグラ、アキノウナギツカミ、ヤマイタチシダ、ヤワラシダ、ダイコンソウ、クズ、コナラ、ホドイモ、サワフタギ、フユヅタ、ナツヅタ、ヘクソカズラ、スイカズラ、ヒメシダ、イワヒメワラビ、ナワシロイチゴ、アキカラマツ、カキドオシ、ゲンノショウコ、ヌマトラノオ、オカトラノ